の影響を受けて経営者の道(55)は、和佐見勝理事長 を歩んできた、と振り返 今から30年前の1992 丸和運輸機関に出向し

格をまとめた社内誌

同信

も奨励している。

退職

れる。

ど、様々な外部資格の取得

会長)の物流技術管理士な

業生を講師に集め、事前学

習会を開催するなど力を入

丸和運輸機関の企業 を発行している。誌

なる」との親心もある。

蔵・冷凍物流。習志野市と

富里市に3拠点を

増田運輸の主力業務は冷

のカタログ通販を全国展開

し、その物流業務を受託し

「ミスミでは外食の8割

立ち上げた。受注翌日配送

業の成長エンジンを加速さ

従業員満足度を

新規の仕事を 確保したい!

向上させたいト

ットワーク事務局(〇3 AZ-COM丸和・支援ネ

)まで

獲得に取り組み、今後もた COMネットは更なる会員 コロナ収束とともにAΖ-約されてきた面はあるが

ゆまぬ努力で:

また、AZ-COMネッ

ても、資格は本人の資産に

営」から採用した。 文化を示す「同音同響の経

トの経営者コースには現



守一氏 増田

て企業基

宝盤構築

年に実施した研修や取得資以来30年にわたり、その 幹部育

和運輸機関の幹部・従業員 引越部門で働いたが、 の徹底など、教育や研修の の仕事への態度、あいさつ すごさに衝撃を受けた」と 丸

就任した増田運輸(千葉県 Mネット)の新たな監事に ネットワーク(AZ-CO

AZ-COM丸和・支援

たのが縁の始まり。当時は

本ロジスティクスシステムいる」という。例えば、日 のは無理。だから、外部研 修には意欲的に参加させて

こまでの教育を独自でやる いる。「上場物流企業の経の大切さを学んだが、あそ 在、5人の受講生を送って 協会(JILS、大橋徹二 内の過去の経営者コース卒 学べる貴重な機会。確実に営陣が何を考えているのか 欲を示す。受講に際し、社 社内に蓄積させたい」と意

> と自信を見せる。 我々も通販物流では古参」

ッキングしていた。今は習

ト冷凍コンテナでピ

運輸機関は急拡大するネッ

ト通販物流の代表格だが、

断。敷地の片隅に置いた20広げる余地が大きいと判 強は個人店なので、通販を

配送を行っている。「丸和

調理器具などの通販事業を A(工場自動化)用部品のはなかった時代。金型・F が、外食産業向けに食材・ 製造・通販大手のミスミ ターネットがまだ一般的で (現ミスミグループ本社) 参入時期は95年と、イン と企業の基盤構築に熱心に Z一COMネットでも じように幹部を育てたい 柱の一つにまで育てた。 入居している」と話すよう 志野物流センターの2階に

小さな業務から事業の

達成を目指す

コロナ禍により活動が制

年3月末までに2千会員の

品共同購入など、 営支援メニューの利用拡大 トの海外視察への参加や物 A Z I 様々な経

期生の経営者研修コースは 開催時期がずれていた第5 新型コロナウイルス禍で

する。

和佐見理事長が自ら

同研修コースは人気が高 成などについて持論を語る

内容の濃い研修だけに、

り、9月には全6回が終了

教壇に立ち、経営者として



〈AZ-COMネットの機関の小倉友紀取締役 の原竜也社長、4日) ベクターロジスティクス 和佐見理事長の代理〉 愛知県一宮市で3者協定 を締結(左から丸和運輸 宮市の中野正康市長、



の第2回会 会地域支部 BCP委員

を置く会員事業者のベクタ 社長)と同市、 構える丸や運 東北支部を

8月4日には愛知県

皮切りに、

宮市では、同市に本社 ーロジスティクス(原竜也 も参加する3 る3者協定を Mネットによ 者協定の締結 元会員事業者 AZ-CO

に福島県二本 松市に本社を 次いでいるという。 ブロックに順次設置してい からも協定締結の打診が相 また、21年秋から全国6 トラックショ

での実施を計画している。 関東の両支部でも、

·初出展

保有する食品輸送専用のク 3日間、「ジャパントラッ クショー2022」がパシ 美社長、東京都荒川区)が ループの丸和通運(河田和 示のほか、丸和運輸機関グ ットは初めてブースを出展 で開かれ、AZーCOMネ フィコ横浜(横浜市西区) ールコンテナのPRなどを)た。BCPに関連した展 5月12日から14日までの 行った。

の成果を書籍にまとめ、『行 者や幹部候補者が参加し学 3〇〇人を超える企業経営 来場者に無料で贈呈した。 おり、ジャパントラックシ 先端の物流・流通」』として った。見た。触れた。「世界最 んできた。21年6月には、こ 60会員(うち10%が個人 会員)に拡大しており、 いる。 8月5日時点で17 こうした地道な活動によ 5年間の海外視察研修は ーの出展ブースを訪れた 会員数は着実に増えて 初版で1万部刷って

宮で3者協定 ており、 協定に続き、第2弾となる。 送(佐藤仁社長)と同市、 こうした活動は注目を集め AZーCOMネットによる

様々な県や市町村

を皮切りに、

員長)地域支部の第2回会

5月25日の東北支部

るBCP委員会(和佐見委

支部、7月12日には九州支 四国支部、同7日に北海道

部で開催した。残りの関西、

方、BCPの災害時支

ており、現在のところ未定 は、新型コロナの感染状況する。第6期生の開始時期 を踏まえ決定することとし 生は延べ200人近くに達 則、会場参加とすることかオンラインは併用せず原 5期生が修了すれば、卒業 の試験の対策として、7月 ロナ対策を徹底している。 て開催するなど、ウィズコ ら、この2年ほどは定員50 人のところ30人程度に絞っ を務め、受講者を20人に限 1日がかりの研修で、行政 で開催した。両日ともに丸 30日と8月6日に2週連続 書士の佐久間翔一氏が講師 修コース。8月6日から始 新しく導入したのが、運行 まった2022年度第1回 管理者試験受験者向けの研 教育支援メニューとして

ネット、和佐見勝理事長)は、教育支援メニューの拡充などにより、順ク、一般社団法人AZICOM丸和・支援ネットワーク(AZICOM丸和運輸機関が展開するパートナー企業のための経営支援ネットワー

るなど、BCP(事業継続計画)対策も全国的に広がりを見せている。OMネットの3者協定による災害時支援協定が愛知県一宮市と締結され調に会員数を伸ばしている。また、会員事業者と地元自治体、AZIC

スは9月10日に同センター クニカルセンター(東京都 方針だ。 ため、 羽村市)で開催。中級コー

修の初級コースは7月16 日、日野自動車のお客様テ 定して行った。好評だった セールスサービスマン研 今後も継続していく

ブリッド形式を採用した加とオンライン併用のハイ 日に開いた第14回は会場参 ラインのみで実施。3月14 開く。昨秋の第13回はオン が、今秋は会場参加を原則 第15回を迎えるパートナ 企業研修会は10月18日に

いる。 ど、人気メニューとなって すぐに定員数に達するな 10人で、 で実施する。ともに定員は いずれのコースも

けに研修(7月30日) 運行管理者試験受験者向 受講者を20人に限定し、

運輸業界の皆様が抱える「様々な課題」を解決してまいります。

围 胡

AZ-COM 丸和・支援ネットワークは、会員の皆様 向けに数多くの支援メニューを取り揃えています。

となりそうだ。

し、新型コロナの動向次第 とした開催を見込む。ただ

(利益)支援メニュー(一例)

ETC 高速料金の大口・多頻度割引 物流質材の共同購入 人財募集サイトの格安利用

◆教育(人財育成)支援メニュー(一例)

セールスサービスマンコース 経営者コース

運行管理者試験対策コース

社会貢献できる · O O 会社にしたい!

ドライバー不足を

解消したい!

記までお問合せください!

AZ-COM WET

-般社団法人 AZ-COM丸和・支援ネットワーク

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-2 鉃鋼ビル本館5階 MAIL azcom-net.info@momotaro.co.jp URL:http://www.azcom-net.jp/

TEL 03-3212-1111 FAX 03-3212-1112